

鯺ヶ沢 鯺ヶ沢高伝統の流し踊りが復活

鯺ヶ沢高校伝統の流し踊りが10日、3年ぶりに町の中心部で披露された。今回は初めて鯺ヶ沢町内3小中学校の児童生徒も

参加。沿道に詰め掛けた保護者や町民は子どもたちが元気に踊る様子に目を細め、声援や拍手を送った。(下山高秋)

3年ぶり笑顔で披露

町内の児童生徒も初参加

3年ぶりに復活した流し踊りを披露する鯺ヶ沢高の生徒たち



同高の流し踊りは新型コロナウイルスの影響で2020年、21年と2年連続で実施が見送られていたため、3年生も初体験となっ

た。同高の取り組みを知ってほしいとの趣旨から、初めて町内の舞戸、西海2小学校の児童、鯺ヶ沢中学校の生徒も加わり、町無形文化財保存会のメンバーを含めて総勢約180人が参加した。

町中央公民館前で行われた開会式で、川浪泰

初めて参加した児童も精いっぱい踊りを披露



浩校長が「踊りを笑顔とともに町の人に届けてください」とあいさつ。児童生徒を代表して、鯺ヶ沢高の佐藤優維生徒会長が「初の小中高合同の流し踊りで緊張する人も多いと思うけど、良い思い出になると思う」と呼び掛けた。

続いて、鯺ヶ沢地域創生合同会社の木村壮志代表が、喉の渇きを癒やしてほしいとペットボトル入り水を参加者に贈った。

児童生徒は公民館近くの海の駅わんど前から出発。高校生は浴衣、小中学生は

赤、青、黄のはんてん姿で「鯺ヶ沢甚句」に合わせ、JR鯺ヶ沢駅前までの約2キロを笑顔で練り歩いた。鯺

ヶ沢中3年の白戸音さんは「初めての流し踊りだったけど、笑顔で楽しくできた」と感想を話した。

(陸奥新報)